

指定候補地の概要（化女沼）

1. 名称 化女沼

2. 所在地 宮城県大崎市

3. 面積 34ha

4. 面積内訳

形態別	公有水面	34ha
所有者別	公有水面	34ha

5. 法令による規制

全域が国指定化女沼鳥獣保護区化女沼特別保護地区（存続期間 H20. 8. 1～H29. 10. 31）に含まれる。

6. 概要及び湿地の国際的重要性の評価

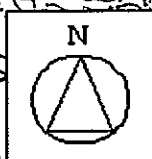
化女沼は宮城県仙台市の北に位置する大崎市に所在し、灌漑用ため池として維持されてきており、平成8年にその南側にダム堰堤が建設されている。ダム周辺にはアカマツ、クリ、コナラ等が分布しており、ダム浅水域には広範囲にヒシ、ヒルムシロ等の浮葉植物が繁茂し、汀線部にはヨシ、マコモ、ショウブ等の抽水植物が生育しているなど、多種多様な植生を有している。

このような自然環境を反映して、化女沼は、環境省が作成したレッドリストに記載されている絶滅危惧Ⅱ類のヒシクイ（亜種）、準絶滅危惧種のマガン、オオハクチョウ等のガンカモ類を始めとする渡り鳥の全国的に重要な越冬地となっている。特に、ヒシクイ（亜種）は毎年2千羽以上、マガンは毎年3千羽以上の越冬が確認されており、東アジア地域個体群の個体数の1%以上を支える。また、絶滅危惧ⅠB類のオジロワシ、絶滅危惧Ⅱ類のオオワシ等の猛禽類の生息も確認されており、合計で112種の鳥類の生息が確認されている。また、ガンカモ類の重要な渡来地であることから、「日本の重要湿地500」にも選定されている。

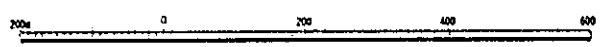
7. 位置図 別紙のとおり

ラムサール条約湿地区域図


化女沼 (案)



1 : 10, 000



凡例

 ラムサール条約湿地

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。
(承認番号) 平20東複第43号

25

23